

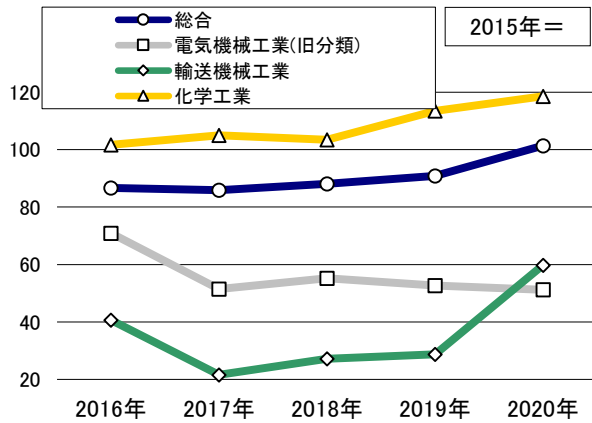
鉱工業

鉱工業生産の動き

2020年の鉱工業生産指数(原指数)の年平均は100.0(2015年=100)で、対前年比6.2%の減少となりました。

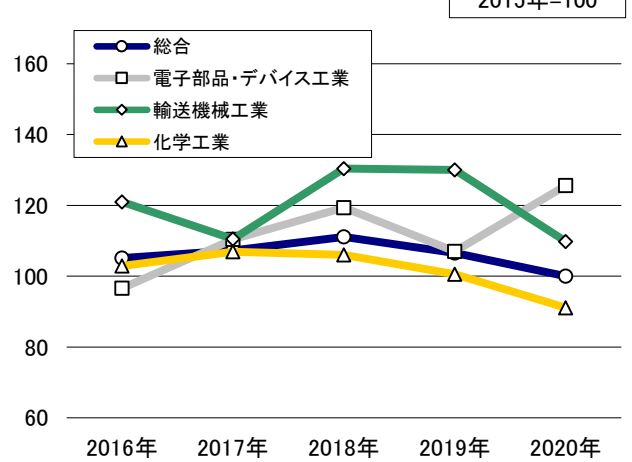
主な業種をみると、電子部品・デバイス工業125.6(対前年比17.4%増)、輸送機械工業109.8(同15.5%減)、化学工業91.1(同9.4%減)となっています。

図22 鉱工業生産者製品在庫指数(原指数)



資料 県戦略企画部統計課
「鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き」

図21 鉱工業生産指数(原指数)



資料 県戦略企画部統計課
「鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き」

2020年鉱工業生産者製品在庫指数(原指数)の年平均は101.4(2015年=100)で、対前年比11.6%の増加となりました。

主な業種をみると、電子部品・デバイス工業を含む電気機械工業(旧分類)51.2(対前年比2.8%減)、輸送機械工業59.8(同108.4%増)、化学工業118.6(同4.5%増)となっています。

2020年工業統計調査結果

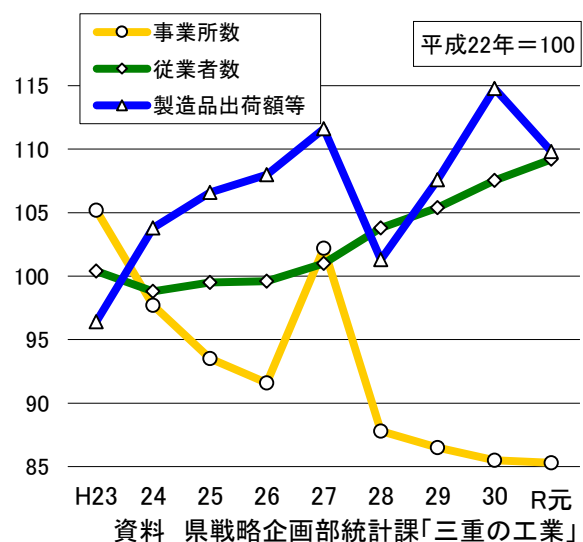
(従業者数4人以上の事業所が対象)

(1) 概況

令和2年6月1日現在の事業所数、従業者数、平成31/令和元年1年間の製造品出荷額等を指数(平成22年=100)で見ると、事業所数85.3(対前年比0.2%減)、従業者数109.2(同1.6%増)、製造品出荷額等109.8(同4.4%減)となっています。

※図23の事業所数、従業者数：平成24, 25, 26年は当該年12月31日現在、平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年以降は翌年6月1日現在の数値。

図23 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の指数



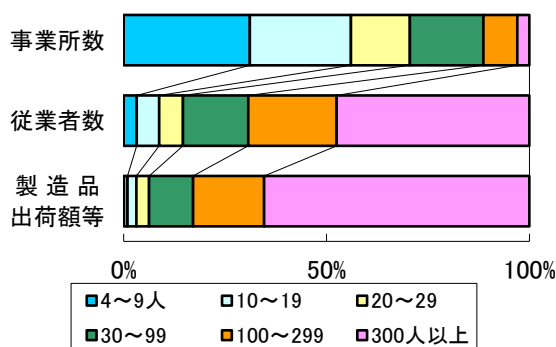
資料 県戦略企画部統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

令和2年6月1日現在の事業所数、従業者数及び平成31/令和元年1年間の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の31.1%(1,057事業所)を占めています。従業者数では同3.2%(6,693人)、製造品出荷額等では同0.9%(1,011億円)となっています。

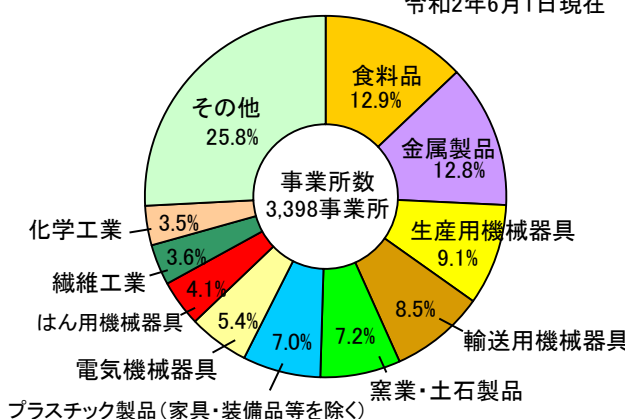
これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で全体の3.0%(102事業所)ですが、従業者数では同47.5%(9万8,665人)、製造品出荷額等では同65.4%(7兆45億円)を占めています。

図24 従業者規模別状況

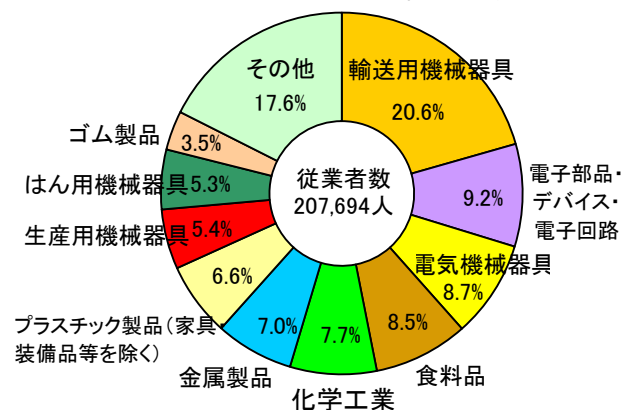


資料 県戦略企画部統計課「三重の工業」

図25 業種別事業所数・従業者数、製造品出荷額等割合
令和2年6月1日現在



令和2年6月1日現在

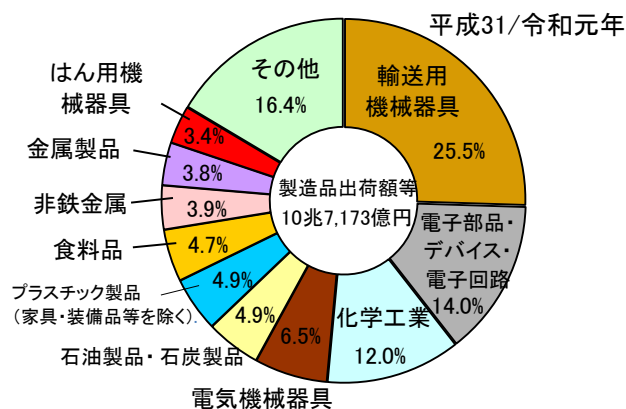


(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が12.9%(439事業所)で最も高く、次いで金属製品製造業が12.8%(436事業所)、生産用機械器具製造業が9.1%(308事業所)などとなっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業が20.6%(4万2,742人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業が9.2%(1万9,039人)、電気機械器具製造業が8.7%(1万8,045人)などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が25.5%(2兆7,320億円)と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が14.0%(1兆4,957億円)、化学工業12.0%(1兆2,879億円)などとなっています。



資料 県戦略企画部統計課「三重の工業」